

令和7年度

# 「運営に関する計画」

大阪市立北稜中学校

令和7年4月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

- ・令和6年度の全国学力学習状況調査における「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」の質問に対して、最も肯定的な「思う」と回答した生徒の割合は69.1%であった。
- ・令和6年度の校内調査において、不登校生徒の在籍生徒に対する比率は、7.8%であった。
- ・令和6年度の全国学力学習状況調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の質問に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合は34.1%であった。
- ・令和6年度の中学生チャレンジテストにおける国語の平均点の対府比は、現2年生が1.16、現3年生が1.16で、数学の平均点の対府比は現2年生が1.13、現3年生が1.27であった。
- ・令和6年度の大阪市英語力調査におけるCEFR A1レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合は、87.9%であった。
- ・令和6年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」の質問に対して、最も肯定的な「好き」と回答する生徒の割合は、62%であった。
- ・令和6年度の校内調査における「ICT機器を活用した授業はわかりやすい」の質問について、肯定的に答えた生徒の割合は88%であった。

## 中期目標

### 【安全・安心な教育の推進】

- ・全国学力学習状況調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を 80%以上にする。
- ・年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。
- ・年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・全国学力学習状況調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を 30%以上にする。
- ・中学校チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比について、いずれの学年も 1.20 以上を達成する。
- ・大阪市英語力調査における C E F R A 1 レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合（4技能）を 85%以上にする。
- ・年度末の校内調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する生徒の割合を 55%以上にする。

### 【学びを支える教育環境の充実】

- ・校内調査における「ICT機器を活用した授業はわかりやすいですか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 85%以上とする。
- ・夏期休業中に5日、冬期休業中に2日間の学校閉庁日を設けることで、教職員の年休取得率を高める。

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標

### 【安全・安心な教育の推進】

- ・全国学力学習状況調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を 75%以上にする。
- ・年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。
- ・年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる。

### 学校の独自設定

- ・生徒アンケートにおける「学校での毎日が楽しい」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を 85%以上かつ、「よくあてはまる」と答える生徒の割合を 45%以上とする。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・生徒アンケートにおける「授業で自分の考えをまとめたり発表することがある」の項目に対して、最も肯定的な「よくあてはまる」と回答する生徒の割合を、50%以上にする。
- ・中学校チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.04 ポイント向上させる。
- ・大阪市英語力調査における C E F R A 1 レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合（4技能）を 80%以上にする。
- ・年度末の校内調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する生徒の割合を 53%以上にする。

### 学校の独自設定

- ・生徒アンケートにおける「先生は、教え方をいろいろ工夫している」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を 90%以上かつ、「よくあてはまる」と答える生徒の割合を 50%以上とする。

### 【学びを支える教育環境の充実】

- ・授業日において、生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。（ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く）
- ・校内調査における「ICT機器を活用した授業はわかりやすいですか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 85%以上とする。
- ・夏期休業中に5日、冬期休業中に2日間の学校閉庁日を設けることで、教職員の年休取得率を高める。

### 3 本年度の自己評価結果の総括

(様式2)

大阪市立北稜中学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した  
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【安全・安心な教育の推進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・全国学力学習状況調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を75%以上にする。</li><li>・年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。</li><li>・年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる。</li></ul> <p><b>学校の独自設定</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・生徒アンケートにおける「学校での毎日が楽しい」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を85%以上かつ、「よくあてはまる」と答える生徒の割合を45%以上とする。</li></ul>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【(1)安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>不登校対策の一方策としてのリソースルームを利用している生徒にとって、『安心できる居場所』であるための物品を整備するとともに、インクルーシブ教育の推進を図る。</p> <p>指標</p> <p>不登校傾向にある生徒の登校状況を改善する。</p>	
<p>取組内容②【(2)豊かな心の育成】</p> <p>「いじめは人間として絶対に許されない」との強い認識のもと、道徳教育はじめ、あらゆる教育活動を通して個性や差異を尊重する態度を育てる教育を推進する。</p> <p>指標</p> <p>「いのちについて考える日」を設け、各学年で自他のいのちを大切にするための取り組みを、<b>昨年度からブラッシュアップした状態で行う。</b></p>	
<p>取組内容③【(1)安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>教育相談(個人面談)・いじめアンケート等により、個々の生徒の現状を把握するとともに、SSWやスクールカウンセラー等関係諸機関との連携を綿密に行い、スクリーニング会議を充実させる。</p> <p>指標</p> <p>いじめアンケートを各学期に1回、教育相談を年に2回行う。 スクリーニング会議Iを毎月、会議IIは学期に1回行う。</p>	
<p>取組内容④【(1)安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>泊をとまなう行事における生徒の健康面(感染症・食物アレルギー・怪我等)の</p>	

安全を確保する。	
指標 泊行事への看護師の派遣を要請する。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(様式2)

大阪市立北稜中学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>生徒アンケートにおける「授業で自分の考えをまとめたり発表することがある」の項目に対して、最も肯定的な「よくあてはまる」と回答する生徒の割合を、50%以上にする。</li><li>中学校チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.04 ポイント向上させる。</li><li>大阪市英語力調査における C E F R A 1 レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合(4技能)を 80%以上にする。</li><li>年度末の校内調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する生徒の割合を 53%以上にする。</li></ul> <p><b>学校の独自設定</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>生徒アンケートにおける「先生は、教え方をいろいろ工夫している」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を 90%以上かつ、「よくあてはまる」と答える生徒の割合を 50%以上とする。</li></ul>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容⑤【(4)誰一人取り残さない学力の向上】 言語活動の充実を図るため、図書室の学習環境の整備を行う。	
指標 図書室の来館者数を前年度より増加させる。	
取組内容⑥【(5)健やかな体の育成】 体力向上に向けた取り組みを推進するため、体育用具の整備を行う。	
指標 全国体力、運動能力・運動習慣等調査における体力合計点を全国平均以上にする。	
取組内容⑦【(4)誰一人取り残さない学力の向上】 数学・理科・英語の3教科において、習熟度に応じた授業を実践する。	



指標

上記3教科のチャレンジテスト（plus）において、正答率が20%に満たない生徒の割合を、同一母集団において経年的に比較し、前年度より減少させる。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(様式2)

大阪市立北稜中学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<b>【学びを支える教育環境の充実】</b> ・ 授業日において、生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。(ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く) ・ 校内調査における「ICT機器を活用した授業はわかりやすいですか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を85%以上とする。 ・ 夏期休業中に5日、冬期休業中に2日間の学校閉庁日を設けることで、教職員の年休取得率を高める。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容⑧【(6)教育DX (デジタルトランスフォーメーション) の推進】 ICTを活用した教育を推進するため、デジタル教材やデータを用いた個に応じた学習を促進する。	
指標 授業日において、生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。(ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く)	
取組内容⑨【(7)人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 生徒の安心・安全を守る教員の資質を高める。	
指標 安心・安全を守る教員の資質を高める研修を実施する。	
取組内容⑩【(7)人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 「ノー残業デー」の定着等の取り組みにより、職場環境の充実を図る。	
指標 夏季休業中に5日、冬季休業中に2日間の学校閉庁日を設定する。 「弾力的運用」を小学校と調整し活用する。 部活動の完全下校時刻見直しの検討を行う。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	

次年度への改善点

令和7年度 学校関係者評価報告書

大阪市立北稜中学校協議会

1 総括についての評価

--

2 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

年度目標：
年度目標：
・ ・ ・ ・

3 今後の学校園の運営についての意見

--